

## たじみん昼話 118

### お家で実験その⑬ 武道の実験

感動と勇気を与えてくれたオリンピック・パラリンピックが終わった。特に桔梗が感動したのは、他競技の選手以上に勝利への執念を見せつけた、柔道選手の鬼気迫るパフォーマンスだ。お家芸としてのプレッシャーを跳ね返す凄まじい闘志漲る姿は、感動しすぎて鳥肌が立ったほどだった。

この選手たちの常任離れしたパフォーマンスは、ただパワーとスピードとテクニックに依存して競技しているわけではない。

この対人競技で勝利するためには、自分の体力強化と技術鍛錬に加え、相手と自己の心身状態を瞬時に把握する力が必要だからだ。そしてこのデータを基に、自分が勝利する試合の流れを数手先まで想像しながら、適度なタイミングで技を仕掛けることが求められるからだ。

今回は、この選手たちが持つ、「正確な相互の心身状態の把握」、「正確かつ素早い先の動きの計算力」、「計算通り動く体」、「勝利への執念」の中の、「正確な相互の心身状態の把握」と「計算通り動く体」を体験する実験だ。挑戦しよう。

#### ☆用意するもの

10円玉と自分の指。ただし、2人で実験をやる。

#### ☆準備

- ①向かい合って立つ。検証される人に、両手の薬指の先どうしを合わせたまま、他の指をからませて握ってもらう。
- ②検証される人が握っている薬指の先の中に、検証する人が1枚のコインを挟む。

#### ☆実験

検証する人が、「そのまま薬指を開いてコインを落としてください。」と言う。  
※ピアニストでもない限り指を開けない。つまりコインは落下しない。

#### ☆考察

この実験を他の指で行うと簡単に開く。(中指は難しい?)しかし、薬指は中指と靭帯がつながっているため、中指が自由に動かせない状態では薬指だけを動かすことはできない。ピアニストの中には、薬指を自由に動かせるように靭帯を伸ばす訓練をする人もいる。こういう人は動かせたかもしれない。だが両手を組んだ状態では、やはりコインを落とすことは出来ないだろう。

人間の手の薬指と中指は、なぜ繋がるように進化したのだろうか、詳しい理由は不明だ。調査すると新発見があり、良い大学志望理由書が書けるかもしれない。